

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安心して健やかに暮らせるまちづくり(重点計画)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	上野原市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	209	A	209	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度当初	令和4年度末	令和6年度末
1	桂川流域関連上野原市公共下水道の処理人口普及率を48%(令和2年度当初)から50%(令和6年度末)に増加させる			
	下水道処理人口普及率	48%	49%	50%
	桂川流域関連公共下水道処理区域内人口(人) / 桂川流域関連行政人口(人)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	上野原市	直接	上野原市	管渠(汚水)	新設	上野原地区(普及促進)	L=2116m	上野原市						202	-	
	A07-002	下水道	一般	上野原市	直接	上野原市	管渠(汚水)	新設	新田地区(普及促進)	L=257.2m	上野原市						7	-	
												小計					209		
												合計						209	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 上野原市企画会議	事後評価の実施時期 令和7年12月実施
	公表の方法 上野原市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率は、48.97%（平成31年度末）から51.74%（令和6年度末）となった。計画期間において、7.34haの供用を開始した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
定量指標の目標値は達成することができた。現在、マンホールポンプ等の老朽化が著しいのでそれら施設の改築工事を優先して進めていく予定である。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	50%
	最終実績値	52%
		令和6年度末の総人口は21,036人であり、下水道処理区域内人口は10,885人であり、実績値は51.74%となる。当市は、人口密集地を優先して整備しているため、目標値以上の数値を達成することが出来た。